

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型サービスの意義をふまえた事業理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 →新体制の構築の中にホーム理念の策定→ホーム目標、ユニット目標の策定→個人目標の策定 →達成の検証に至る仕組み作りが必要。	職員の思いを反映したホーム理念作りと、現在のホーム目標の浸透を図る。ユニット目標に関しては現在ユニットリーダー不在となっている。目標策定よりも人材育成をしユニットを任せる事のできる人物を育成する必要がある。	①ホーム目標の掲示をし、職員に周知を図る。 ②職員の思いを集約し、ホーム理念を作り上げる。 ③ユニットリーダーの育成を行う。 ④目標達成については何を持って達成とするか明確な基準を作っている。職員にも周知し徹底していきたい。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。